

国民健康保険被保険者証(保険証)の一斉更新について

～国民健康保険被保険者証(保険証)の有効期限は平成28年3月31日まで!～

国民健康保険被保険者証(保険証)の一斉更新を行います。

平成28年2月末までに『国民健康保険税』を全額納めていますか?

はい

新しい保険証が、3月中旬から下旬にかけて世帯主あてに送付されます。

【保険証の送付方法】

確実に被保険者にお届けするために簡易書留で郵送いたします。受領印が必要なため、不在の場合には配達されません。

いいえ

国保税の納付が確認でき次第、仲里庁舎(福祉課)、具志川庁舎(総合窓口)で交付いたします。

※滞納している方はお早めに福祉課国保担当にご相談ください。ご相談もなく滞納が続くと滞納処分(差押等)の対象となります。

- お支払済みの世帯でも、住民登録が久米島町外にある方のマル学の保険証は窓口発行となります。お手数ですが、在園証明書、在学証明書等をお持ちの上、窓口にて手続きをお願いします。(ご卒園、ご卒業等された場合は、必ず届け出てください。)
- 来年度の保険証の更新(平成29年3月)までに75歳に到達される方の保険証の有効期限は誕生日の前日となっています。
- 平成28年4月2日以降に新たに70歳に到達される方は、誕生月(1日生まれの方は誕生月の前月)の中旬ごろに高齢受給者証と一体になった新しい保険証を郵送で送付しており、70歳の誕生月の翌月(1日生まれの方は誕生月)から使用していただけます。
- 保険証は丈夫な素材で作っていますが、水にぬらさないようご注意ください。保険証のカバーをご希望の方には、仲里庁舎(福祉課)及び具志川庁舎(総合窓口)でお渡ししていますのでご来所ください。
- 保険証が届いたらすぐに記載内容に誤りがないか必ず確認をお願いします。

お問合せ 福祉課 国保担当 ☎985-7124

出張年金相談会

日本年金機構浦添年金事務所が出張年金相談会を開催します。*相談には認印・年金手帳・年金証書・ねんきん定期便等の基礎年金番号のわかるものもしくは身分証明書をお持ちください。

●年金相談関係(年金請求、年金受給額見込額等)

●国民年金保険料関係(保険料免除等)

●年金加入記録関係

などについてご相談ください。

日時:2月25日(木)13時00分～17時00分

2月26日(金)8時30分～13時00分

場所:仲里庁舎1階会議室

要予約!!(下記の番号までお電話ください)

☎877-0343 浦添年金事務所 お客様相談室

*また、代理で相談をされる場合は委任状が必要となりますのでご注意ください。(代理人の方も身分証明書をお持ちください。)

*50歳以上の方は、年金見込額の計算をすることができます。



お問合せ 日本年金機構 浦添年金事務所 ☎877-0343 福祉課 ☎985-7124

風の帰る森

定期便り



第4号

今月の担当
沖縄県海洋温度差発電実証設備
岡村 轟

現在、錢田森林公園内に計画
中の子どものための交流拠点施
設「風の帰る森」(以下風森)
について進捗状況や施設におけ
る課題など、さまざまな情報を
毎月発信していきます。
第四回目は「風森の発案者で
ある宮崎駿監督マンガなので
という理由により自薦で風森の
手伝いをしていく沖縄県海洋温
度差発電実証設備の岡村が、風
森の考え方の根っことなってい
る本についての情報をお届けし
ます。

「一番気にかかるのは子供たち
(ママ)」

この発言は、宮崎駿監督の初
の単著『出発点』(徳間書店1
996年)に前書きとして収録
されている、ジャーナリストの
筑紫哲也さんとの対談の中で出
てきたものです。対談の冒頭に
この発言が出てくるだけであ
つて、この本には1979年から
1996年までに宮崎駿監督が
子どもについて考えてきたこと
が、たくさん書かれています。
風森プロジェクト発案に至る、
子どもへの思いの履歴について

知ることができると本です。ちな
みにこの発言は「日本人の没落
というときに、何が一番気にな
るか」といったら(中略)この国
にいる子供たちが元気なのかど
うかということが、僕は一番気
になります。つまり人が健やか
に生きていけば、国は貧乏でも
いいんですよ」と続きます。

「虫眼とアニ眼」と「センス・
オブ・ワンダー」

しかし、考え方が分かったか
らといって「じゃあ、その考え
方を下敷にして久米島のみんな
で子どもの遊び場を描いてみよ
う!」と言われても難しいも
の。その中で、養老孟司さ
んと宮崎駿監督の対談集『虫眼
とアニ眼』(徳間書店2002
年)は、具体的な町や家づくり
のアイデアが二十頁にわたっ
てイラストで紹介されている格
好の「参考書」になっています。
またプロジェクトに参加する
とすぐ「これは基本」と指定さ
れたのが「センス・オブ・ワン
ダー」。著者は、環境問題に取
り組む人々のバイブルとなっ
ている「沈黙の春」(1962年)



『センス・オブ・ワンダー』
新潮社1996年
レイチェル・L.カーソン(著)
Rachel L. Carson(原著)
上遠 恵子(翻訳)



『虫眼とアニ眼』
徳間書店2002年(ハードカバー)
新潮社2008年(文庫)
養老 孟司(著)、宮崎 駿(著)
※画像は文庫版表紙

のレイチェル・カーソンで、子
どもが自然のもつ不思議さを見
じとる力について、詩のような
美しい文章で綴られた名著で
す。
どの本も、島内に意外にたく
さんいる風森に関わっている人
に声をかければ伝手をたどって
借りられると思います。機会が
あったら是非どうぞ!

「風の帰る森」はメイドイン久米島をコンセプトにしたプロジェクトです。現在計画の進行や実作業は、島内のデザイン会社である「久米クリエーション」が担当させて頂いております。ご意見ご感想等お待ちしております。久米クリエーション: info@kumecreation.com 担当: 田場勝治・渡辺信介

お問合せ プロジェクト推進室 ☎098-985-7141

第十回特別弔慰金の請求手続きが始まっています。

特別弔慰金は戦没者の遺族に対し支給されるものです。

遺族相談について

請求期間:平成27年4月1日～平成30年4月2日の3年間

金額:25万円(年5万円の5年償還)

受付機関:久米島町役場福祉課

準備していただくもの:印鑑、請求者の戸籍抄本
(初めての申請の方は除籍謄本も必要になります)

※請求書類一式は福祉課に取り揃えてあります。

お問合せ 福祉課 ☎985-7124



先の大戦から70年が過ぎ、残された遺族に対する相談を喜久里氏が相談員として受け付けています。